

住民向け在宅療養推進フォーラム

～おうちっていいよね～

病気があっても住み慣れた「我が家で」最期まで暮らし続けたいと希望したら、医療と介護の多職種が連携・協働して、願いや、思いをかなえられるような在宅療養システムがあります。どんなことが出来るのか、聞きにきませんか？



講話 「在宅医療の現場から、今、市民の皆さんに伝えたいこと」

村岡外科クリニック 院長 村岡 正朗 氏

～住み慣れた我が家で暮らし続けるために～

○「おうちに帰るための気仙沼市立病院の取り組み」

阿部 孝子 氏（気仙沼市立病院地域医療連携室看護師）

○「おうちで暮らすための制度について」

小野寺 育子 氏（気仙沼市地域包括支援センター保健師）

○「ケアマネジャーの仕事と在宅療養の様子」

小松 治 氏（広域介護サービス気仙沼管理者）

○「おうちで過ごすための福祉用具について」

三浦 慶一 氏（有限会社ホロス代表取締役）

○「おうちで訪問看護師が出来ること」

千葉 美由紀 氏（南三陸訪問看護ステーション主任）

○「おうちで歯科医師が出来ること」

金澤 洋 氏（金沢歯科医院院長）

○「おうちで薬剤師が出来ること」

武田 雄高 氏（株式会社南郷調剤薬局代表取締役）

日 時：平成25年9月7日(土)午後1時～午後3時

場 所：気仙沼プラザホテル(気仙沼市柏崎1の1)

参加費：無料 定員：200名

申込み：裏面様式で8月30日(金)までお申し込み下さい。

当日参加も受付ます。*参加希望多数の場合は施設・団体の方に調整をお願いする場合があります。



主催：気仙沼地区地域医療委員会(担当：気仙沼・南三陸地域在宅医療福祉推進委員会)

共催：宮城県気仙沼保健福祉事務所、気仙沼市、南三陸町、気仙沼市医師会、気仙沼歯科医師会、気仙沼薬剤師会、気仙沼市社会福祉協議会、南三陸町社会福祉協議会、気仙沼栄養士会、宮城県ケアマネジャー協会気仙沼支部、宮城県看護協会気仙沼支部

後援：(株)三陸新報、三陸河北新報社気仙沼支社

問合せ：0226-22-6614(宮城県気仙沼保健福祉事務所)0226-22-0842(気仙沼地区地域医療委員会)

宮城県気仙沼保健福祉事務所
成人高齢班 行
FAX 0226-24-4901

住民向け在宅療養推進フォーラム(9月7日開催)
参加申込書

団体(個人)名 _____

担当者 _____

電話 _____

参加人員 名 ※差し支えなければ下記に出席者をご記入ください

	氏名	備考(職種など)
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

申込締切 平成25年8月30日(金)